

文化プログラム

夏期日本語教育ディレクター
広瀬 正宜

今年は、文化プログラム主任を見つけることができなかつたため、やむを得ず夏期日本語教育ディレクターがこの仕事を兼務したが、一人二役はむずかしい場合があった。なんとか無事に今年の文化プログラムを終えることができたのは、ひとえに文化プログラム担当助手のおかげである。彼ら3名のうち2名は文化プログラム助手またはボランティア学生としてサマーコースにかかわった経験があり、もう1名もSEAプログラムと野尻キャンプなどで同様の経験があったので、引率なども含めかなりの部分を任せることができた。

文化プログラムの内容は、例年通り、以下のものを行った。

- ・ キャンパス・ツアー
- ・ ローカル・ツアー（大学周辺の案内）
- ・ レクチャー・シリーズ
- ・ ジブリ美術館
- ・ 学校見学 大沢台小学校にて
- ・ 禅寺体験学習 武藏境 曹洞宗観音院にて
- ・ 歌舞伎鑑賞 「新版歌祭文」 国立劇場にて
- ・ 陶芸体験学習 深大寺窯にて
- ・ 茶道
- ・ 草履作り
- ・ 書道
- ・ スイカ割り大会

文化プログラム室では、おにぎり・ジュース・菓子パンなどを販売した。

受講生の文化プログラムに対する評価は非常に高く、不満はこれらの行事への参加人数枠が少なすぎるというところにあった。それぞれのイベントのサインアップはすぐに埋まってしまう状況であった。I-Week 実行委員会がピザ・パーティーを企画してくれ、大好評であった。その他、多くのICU生がボランティアとして文化プログラムを手伝ってくださった。

上記のほかに、受講生とボランティアのICU生が自主的に企画して、鎌倉ツアー、富士登山なども行われた。